

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（8月定例会）会議録
開催日時	平成28年8月22（月）15時00分から17時35分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：内田議長、木下副議長、岩崎委員、川崎委員、須永委員、沼本委員、服部委員、原委員、森田委員、矢野(真)委員 事務局：岡本課長、桂主事、奥住主事
議題	(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について (2) 平成28年度社会教育関係団体に対する補助金について (3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について (4) 今後の活動について (5) その他
配布資料	資料1 西東京市社会教育関係団体に対する補助金交付に係る申請及び実績報告の審査等の基準 資料2 平成28年度社会教育関係団体交付決定関係資料 資料3 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について 資料4 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会実施計画 ○東京都市町村社会教育委員連絡協議会 関係資料 ほか
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>●平成28年7月の定例会議の会議録について承認する。</p> <p>●事務局より、9月定例会の日程変更について提案。</p> <p>(1) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について</p> <p>●議長より、東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について「東京都市町村社会教育委員連絡協議会 関係資料」に基づいて報告。また、事務局より補足説明。</p> <p>○議長：「組織のあり方」について、三浦会長より「東京都市町村社会教育委員連絡協議会（以下「都市社連協」）としてまだ結論が出ていないので、秋の全国大会まで持ち帰り意見をまとめたかったが、委員から採決の動議が出たため採決することとなった。結果は1人1人確認し、都市社連協は白紙とした。賛成多数で可決された。任意の寄付金については、各自の判断でお願いしたい。」</p>	

と説明があった。

○事務局：資料にある次第のとおり報告、協議がされた。報告事項については、議長の報告どおりである。協議事項については、協議1のブロック研修会実施計画に沿って各ブロック幹事市から内容説明がされ、理事会にて承認された。他ブロックの研修会への参加については、希望があれば事務局にて状況確認後、参加可能となった。他市のブロック研修会に参加を希望する場合は、事務局まで連絡をいただきたい。協議2は、実施要項案のとおり承認された。協議3は、提案されたとおり承認された。

(1)の「現在の収入に見合った運営」について承認された。(2)の具体的削減案については、質を落とさない範囲で可能な限りの削減努力をする、あるいは今後の懸案事項とする方向性で、削減を図っていくとした。関東甲信越静社会教育研究大会の積立てについては、都市社連協の決算額が概ね確定する今年度末の段階で、各市町村に諮る等、対応・検討すると説明された。

<主な質疑応答・意見>

○事務局：意見・質問はあるか。

○委員：全国社会教育委員連合（以下「社教連」）の寄付について、他の理事から意見は出たか。

○議長：特に出していない。

○委員：組織のあり方についてはどうか。

○事務局：「緊急提案」についての主な質問内容というものがああり、これまでの質問に丁寧な回答が書かれている。都市社連協としては時期尚早ということで、白紙で出したが、多数意見の方に決まったということである。

○委員：緊急提案については、5月の理事会、総会における提案(案)の7ページから9ページが答えとなっているのか。

○事務局：理事会の時には、質疑があるという状況ではなかった。

○委員：緊急提案についての主な質問内容やその他主な質疑の内容等、都市社連協は社教連に対して、存在や組織のあり方の見直しが必要で、そのためには、これだけお金が必要だと言ってくれば、納得して寄付や会費を出そうということだった。しかしそれについて社教連が、寄付は任意であるという曖昧な回答をしていることが問題であり、これは社教連に対して我々が指摘していかなければいけないことである。社連協とすれば、組織のあり方検討委員会から組織のあり方についてのレポートが出ているのにも関わらず、それについてお金のこと以外、社教連が言及していない、回答しようとしていないことが非常に不満である。これからも社教連に対して、事あるごとにこのことは突きつけていかなければいけないと思う。

○議長：この件については、いろいろ考えはあると思うが、前回の理事会ではこのように報告があった。

(2) 平成28年度社会教育関係団体に対する補助金について

●事務局より、資料1「西東京市社会教育関係団体に対する補助金交付に係る申請及び実績報告の審査等の基準」、資料2「平成28年度社会教育関係団体交付決定関係資料」に沿って説明。

＜主な質疑応答・意見＞

- 議長：意見・質問はあるか。
- 委員：この活動自体評価できるが、いろいろな学校で西東京市が行っている総合防災訓練等と連動はしないのか。
- 事務局：今年の総合防災訓練は明保中学校と文理台公園を使って実施すると聞いている。その時にパネル展示及びチラシ配布によって、防災についての活動を行いたいとしている。
- 委員：学校毎にある避難所運営協議会の活動としての、栄小学校防災訓練のことか。
- 委員：けやき小学校でも行う話がある。
- 委員：先ほど話があった防災訓練は、西東京市の総合防災訓練で年に1回行われる。避難所運営協議会は、市内小学校18校、中学校9校それぞれにある。危機管理室と、明保中学校、東小学校の避難所運営協議会とが連携し行くと、話を進めているところである。
- 議長：各学校の避難所協議会は、地域、団体がそれぞれ任せられて活動している。公民館が開いた避難所の防災についての教室で、一般の方や避難所運営協議会の方で大きな会が組織され、そこに西東京レスキューバードも参加して、西東京市全体の防災、避難所をどうするかという段階には進んでいる。
- 委員：団体に関する調書2に前年度の実績として、4月25日からゆめこらぼと協働で行っているHUG(避難所運営ゲーム)等の支援が挙げられている。
- 委員：同じ視点を持っている方が定期的に連携できると良いと思う。
- 議長：今、始まりつつあると思われる。
- 委員：地域活動として良いと思う。
- 委員：これから地域活動に繋がると思う。
- 委員：今年度の団体予算はどのように算出されているのか。
- 事務局：団体の会費と他事業での収入があり、今回はその中の「防災知識の周知」の事業について申請があった。
- 委員：このような活動は総合的な問題に繋がるものであり、緊急性もあるものなので、事業ごとではなく、活動している会に対して市全体で目を向け取り組んでいくべきだと思う。
- 議長：市の公共的な防災活動等をするために勉強会をして立ち上げた組織、団体をどのように育成していくかというところで、育成はしたが活動費用が無く、活動に行き詰まることがあると感じている。
- 委員：日本は大きな事件や、地震等があるとその時に考えるが、前もって考えておくことが必要だと思う。
- 議長：他に無ければ、西東京レスキューバードの防災事業の市民への広報事業を社会教育関係団体に対する補助金の対象とする。

※西東京レスキューバードを社会教育関係団体補助金の対象として決定・承認。

(3) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について

- 事務局より、資料3「平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研

修会について」に沿って説明。

- ・前回の打合せにて菌田先生に講評をお願いしたいという提案があったが、確認したところすでに予定があるということだった。

<主な質疑応答・意見>

- 議長：講評を依頼したいと思っていた方の都合がつかなかった。前回の話合いでは、その方が無理であれば講評自体無くても良いのではという話があったがどうするか。研修案の1から8までは決定事項としてよろしいか。タイムスケジュールとして30分程度発表してもらおう予定で組んであるがよろしいか。
- 委員：研修会テーマ「市民がつくる共生社会～事例を通じて考える～」を「～事例を通して～」とした方が良いと思うがいかがか。大袈裟でなくて良いと思う。
- 議長：それでは「通して」に修正とする。他にあるか。
- 委員：西東京レスキューバードは公民館の講座から始まっており、内容に共感して自分の市でもできないだろうかと考えてもらえれば、社会教育委員発信で始めることができるのではないかと考えている。今回この2つになっているのは、防災や多文化共生の問題はどの自治体でも共通したもので、単会による町おこしの事例をきくと、そういう人が居て良かったですねとなるが、こういうテーマだと、我が市に置き換えて、何ができるのか社会教育委員として考えてもらうのに良いテーマだと思う。
- 委員：この形式は2、3年前の形式とは全く違っている。理事会で方法について言及はあったのか。
- 議長：理事会では方法について特に意見交換をしていない。各ブロックの研修会をどのように行うのか等の報告程度であった。
- 委員：今回はテーマの内容がとても身近で、参加した人にとって関心のあるものなので、いろいろな意見も出やすいと思う。こういう形式も、新しい方法としてうまくできればと思う。
- 議長：タイムスケジュールの案としては、発表団体を5分程度で紹介し、30分程度発表をしてもらい、意見交換を10分程度でと考えている。その後質疑応答となっている。1つ1つを区切って組み立てているが、いかがか。
- 委員：「市民がつくる共生社会」というテーマに関して、事例発表をする団体の位置づけを想定してストーリーを作る必要がある。「市民がつくる共生社会」の「市民」という言葉については、今回発表してもらおうNPO等の2団体が市民として出てくるということによろしいか。そういう理解であれば、市民の代表である2団体の事例から共生社会を考えるということになるので、この事例発表中では活動の内容についての事例だけでなく、彼らが西東京市を共生社会と考えていく上で、何を課題としているのかなどの、何かストーリー性を持たせた発表をしてもらえれば、質疑応答なども活発にできるのではないか。事例発表を依頼するときに、このテーマでどういったストーリーにするのかを交えてお願いしたら良いと思う。
- 議長：発表団体への正式依頼はするのか。
- 事務局：会議にて決定した内容で依頼をする予定である。
- 委員：多文化共生の事例については、例えば公民館だけで活動しているのではなく、地域には色々と社会教育活動をしている団体があるので、その中で「学んで活

かしてつながる」というケースにあてはまる事例は無いだろうかという話をした。多文化共生なら、多文化共生社会を作っていく際に、外国人の支援のほか日本人の意識も変えなければならないなど、社会教育的な部分がある。公民館でもその視点で外国人親子と日本人親子が子育てを通じて交流したり学び合ったりすることがある。公民館から相談があり、講師や一緒に遊ぶ外国人親子を紹介し、必要に応じて講座に出ていくということがある。その後公民館の自主グループとして活動する例がある。発表団体には、何を行っているかではなく、仕組みについて話して欲しいと依頼してある。どうしてそういう活動を始めたのか、課題は何かについての話をしてもらおう予定でいる。

○委員：団体発表にはいくつかポイントがあるので、そこが事例1、2で共通した形で伝わっていれば、意見交換等は難しくないと思う。そのためにも2団体で方向性が合っていないといけないと思う。市民が作る共生社会というテーマの下で、最後のまとめも位置づけられれば良いと思う。

○委員：社会教育部門の連携等も考えられる。

○議長：両団体には共通の方向性をもって依頼したい。

○委員：西東京レスキューバードが出てきた経緯は何であったか。

○議長：私からの推薦ということになると思う。西東京レスキューバードの自分達で勉強し、地域に還元していくという活動が、都市社連協のテーマ「市民・地域とともに高めあう 学びのまち～みんなが まなぶ いかす つながる」に合うと思い推薦した。また、防災というテーマは多くの人の関心があることだと思う。

○委員：本当にこの統一テーマは、西東京レスキューバードの人達が目指すところと一致していると思う。学んだことを広め、そこからまた自分達が学ぶという活動に合っている。他の自治体で同じような活動をしている例があれば、西東京レスキューバードにとっても勉強になると思う。

○議長：内容については、発表者に意図を伝えて依頼をしたい。発表時間自体は一団体30分ということではよろしいか。

○委員：タイムスケジュール案からすると、発表者に質問がある場合は質疑・意見交換の時間を使えばよいのか。また、表記について、発表者に意見交換という言葉を用いるのは適当ではないと思う。

○委員：発表直後に発表者と質疑応答をする方がごく自然な流れであり、そこからまた話が広がると思う。

○委員：発表が30分だと残りが20分となる。質問があれば当然その回答が必要になるので、質疑応答で15分としたらどうか。発表者も質問に対し一所懸命に答えようとしてくれるだろうと思う。

○委員：質疑・意見交換で1つにまとめたらどうか。本来的には発表者がいて、それを聞いて、発表者と質疑応答した後に、意見交換が行われるべき。

○委員：統一のテーマで発表者が用意してきたものに対する質疑が出ることにより、双方向のやり取りが生まれ、発表する側も質問者の意向を踏まえてもう少し広がりを持った話が出来ようになる。短い時間で周りの人と話さなくても良いのではないか。

○委員：この小グループで話す時間を作ったのは、発表を聞いてすぐに質疑としても、声を上げにくいのではないかという意見があったからである。周りと少し会話

をしてから全体の質疑としたら良いのではという考え方である。

- 委員：今までの研修会では、すぐに質疑が出ている様子は無かった。
- 議長：質問をしやすいように前座を作るという認識で良いと思う。
- 委員：聞き逃したところも確認できるので良いと思う。
- 委員：これまでの話を聞くに、質疑応答・意見交換を1つにして20分間とし、すぐ質疑が出ればその人に発言してもらえば良いし、出なければ周りとは話す時間を設けるというのはいかがか。司会者の差配で良いのではないか。
- 委員：それが良いと思う。
- 議長：それでは質疑応答・意見交換はまとめることとする。
- 委員：基本的にこのテーマ・団体ならば、意見交換よりも発表者への質問に時間がかかるのではないだろうか。
- 委員：発表者の立場を考えると、短い時間で少し話をするよりは、きちんと時間を保証してあげるべき。質疑応答ではなく学ぶことの方が大切である。今回の2団体は関心も高いテーマだと思うので、あまり心配は要らないのではないかと思う。
- 委員：発表者もきちんと答えようとしてくれると思うので、質疑応答の時間が短いのも気の毒かと思った。
- 議長：これはあくまで目安として、おおまかな流れとして把握することとする。もう1つ、発表が終わった後のまとめをどうするかについて話し合いたい。
- 委員：そもそもまとめが必要なのか。
- 委員：まとめではなく感想としたらどうか。
- 委員：みんなが参加した感じが出て良いと思う。
- 議長：それではまとめは無しということで感想に変更とする。
- 議長：大体10分間程度と考えておく。開始は13:30、終了が16:25ということでいかがか。まだ役割分担等が残っているが、3番目の配置図案に移らせていただく。前回からこのように提示しているが、これで良いだろうか。
- 委員：(意見無し。決定。)
- 議長：では4番目の役割分担だが、立候補してもらおうか、正副議長で決めてから提示するか。どんな役があるかを把握しておいて欲しい。
- 委員：事前に分担案を決めてもらって構わない。
- 議長：次回の会議にて各役割に名前を充てたものを提示する。協力をお願いしたい。研修会を欠席する委員はいるか。
- 委員：(なし。)
- 委員：当日の開式と閉式の挨拶は正副議長ということで良いか。
- 議長：それについても9月に案を提示する。

(4) 今後の活動について

- 議長：今後の活動については、次回の議題としたい。

(5) その他

- 議長：委員から何かあるか。
- 委員：9月15日付の朝日新聞に庁舎統合について掲載されていた。現在の3館合築についての進捗について教えて欲しい。

○事務局：昨年度の協議会の内容を検証している。協議会からいただいた内容だと、図書館機能を充実させることや、公民館については公民館としての機能を残してもらいたいという意見についてなどである。

○議長：では次に千葉大会について、事務局から願います。

●事務局より、第58回全国社会教育研究大会千葉大会について説明。

○議長：分科会は前回の希望を出したとおりでよろしいか。

○委員：（意見なし。決定。）

○議長：他にあるか。

○委員：1つ報告をしたい。下野谷遺跡見学ツアーを東小学校の保護者と地域の方を対象に行った。地域の方からの要望もあつての開催だった。地域の方12名、保護者2名、施設開放関係者6名が参加した。出来るだけ下野谷遺跡をPRして、今まで認知度が低いということもあるが、これが活性化のベースになれば良いと思い実施した。2枚目は地域生涯学習事業で映画鑑賞会を設けている。これは東町商栄会と西東京シネマクラブ、近隣団体が協力して行っている。今年で5年目になる。昨年は東小学校児童・保護者が220名、明保中学校生徒・保護者が40名、地域の方が300名参加した。地域の方は東町だけでなく、泉町や他の市からも参加があつた。今後も学校と保護者と地域というトライアングルの関係を重視していきたい。時間もあるので、以上で簡単に報告とさせていただきます。案内文書は東小学校、明保中学校、地域にそれぞれ配布している。

○委員：せっかく下野谷遺跡があるので、市内の子供たちに関心を持たせるというのを更に広めて欲しい。先日私は東久留米、清瀬、西東京の人で集まり、下野谷遺跡についての講師を社会教育課から紹介してもらい、会を開いたが、東久留米や清瀬の人達は下野谷遺跡をあまり知らなかった。しかし話を聞いて、いろいろと意見が出てきた。司会を担当したが、西東京市の人に関心を持たせるのは当たり前なことだが、近隣市の人たちにも広めていくことも必要なのではないかと思った。

○委員：市報などで広報はしているが、他のところではPRがまだまだこれからという感じだろうか。去年に文化財係ができ、そういう意味では充実してきていると思うし、これからだなという感じがしている。

○委員：3月には放課後子供教室として、児童対象の教室を行った。校長先生が熱心な方なので、積極的に動いていただいている。地域に根付いた方に協力していただいていることが大きいと思う。

○議長：私からも一言告知をさせていただく。9月に予定しているけやき小の地域生涯学習では原委員を講師に招いて実施する予定なので、興味のある方は是非参加して欲しい。

それでは以上で本日の社会教育委員の会議（8月定例会）は終了する。

※次回会議 平成28年9月18日（日）午前10時から